



「荷物を持って休む」 ～強力(ごうりき)の休み方を参考にして～

「強力」(ごうりき)とは、登山の際、登山者の荷物を持って歩く補助者・案内者のことです。強力さんは、休憩時間、荷物をおろさずに休むらしい。荷物の下に1本の棒を支えとして休むのです。むしろ、そのほうが後々の苦しさを勘案すると楽である。かえって、一度荷物をおろしてしまうと、また荷物を背負うときの負担感は倍増してしまう。苦労は継続するものである。

この話は、かつて母校に勤務していた頃、当時の野嶋淳一校長が訓辞の中でおっしゃっておられた内容でもあり、休業期間に臨む際の心構えを述べられたものとして強く印象に残っています。

支えとは、1本の棒のような信念をもって休むといってもよいかもしれません。

校長は、信念の一例として、「去年(こぞ)今年 貫く棒のごときもの」という高浜虚子の俳句を引き合いにだして、精神性を述べられたこともありました。校長はもう亡くなりましたが、拠り所となるべき言葉、いや哲学的な考え方というものは、私の心に残っているわけです。

みなさんも、今苦しいかもしれないが、あえて荷物を背負って休んでほしい…

小論文ワンポイントアドバイス : 「主観と客観」

かつて、小論文の試験で次のような趣旨で論述したことがあります。マラソンのテレビ中継を見ている。私は気分が悪くなる。テレビは、一見客観的な部分を映し出しているが、実は意図的主観の上に踊らされた客観だからである。具体的には、マラソンのトップランナーしか映像は映し出していない。後続集団やましてラストのランナーなど視野にも入ってこないのだ。もっと全体をみたいと思っても視聴者にはできない。

ある哲学者も言う。主観とはなんとはいかないものなのか。

私たちは、もっと現象面だけではなく、深層や意図性、物事の本質をつかみ取りたいものだと思います。



「学習力」アップに努めていますか? : 「学習力アップシート」大いに活用を!!

- ◎ポイント
- ①全体を見通した上で、部分(1日1日)をとらえていますか?
 - ②目標から逆算して、今すべきことをとらえなおしていますか?
 - ③今すべきことがわかると、心からワクワクしてきませんか?

学習実態調査から : 「学習力」をキーワードとして

先日実施した「学習実態調査」では、年度当初のみなさんの「平常時」の学習姿勢をみました。結果としては不十分。昨年度の3年生は3時間弱の学習時間を確保しています。まだまだだ!

【平均学習時間】	今年度3年生: 136分 (①比-8分 ②比-40分) まだまだ! ※比較 ①昨年度2年次: 144分 ②昨年度3年生: 176分
【今後の実施時期(予定)】	6月定期考査(1学期末考査)直前、7月中旬、9月中旬 10月定期考査(2学期中間考査)直前、11月中旬

みなさんの昨年度分(①)は2月の定期考査直前調査。学習時間が多くなるのは当然。ただ、今年のみなさんは受験生。いくら定期考査直前ではないといっても、①比-(マイナス)ではいかにも心もとない。

今年のキーワードは「学習力」。目標(指標)として、「定期考査直前」と「平常時」(定期考査直前以外の週)とを比較しても、平素から「学習力」(内発力)を向上させているとみるに妥当な成果を上げていきたい。

◆訂正◆前号の土曜講座について: ⑩ 12/1、⑪ 12/8、⑫ 12/15、⑬ 1/12 に訂正を。(12/1は定期考査直前でした)